

## 令和6年度 第1回 佐世保市上下水道事業経営検討委員会 議事要旨

日時：令和6年12月20日（金）13時30分～16時

場所：水道局4F研修室

出席委員 8名（1名欠席）

- 議題**：①本市水道事業の現状と課題について  
②経営戦略の方向性や事業目標について

### **議事要旨**

- ① 本市の現状と課題（施設数の多さ、老朽化、一斉更新時期の到来、人口減少に伴う収益の減少、これらによる収支見通しの厳しき等）について説明し、質疑応答のほか、委員から以下のような意見がありました。

・日本で「東京一極集中」と言われているように、長崎県も県央一極集中になっている。佐世保市は水源不足で企業誘致も制限され、若者が流出しており、佐世保が沈めば周辺市町も含めて皆で沈むことになる。「水」というのは文化、産業、地域経済、地域資源、子育て等において不可欠なものであるから、経営戦略の審議はそのような危機感を持って臨むべきである。

・現状と課題の大きさは理解した。今後は、今までとは少し考え方を変えていかないと解決しない点も多々あるように感じる。

・水道事業経営だけではなく、佐世保市のグランドデザイン自体を考えないと、解決しないことが多いと思う。人口減少率が高い地方都市ではコンパクトシティ化も検討されているところでもある。

・収支均衡を図るには、収益を上げるか支出を抑えるかの基本的構造になると思われるが、人口減少であるから投資を抑えるといった後ろ向きなものではなく、前向きな投資や戦略を示してほしい。

- ② 経営戦略の方向性（都市インフラとして市政を支える経営戦略）や事業目標（施設数削減の目標値等）及びリスクマネジメント（管路リスクへの対応等）について説明し、委員から以下のような意見やご指摘がありました。

・施設更新については、ぎりぎりまで長く施設を使うとして、具体的な更新時期が示されてもおり、これにより平準化を図り、投資を抑える。リスクマネジメントについては監視を強化することで、修繕件数についても向こう10年は現行体制で対応可能で、その後は監視システムで対応していく。これを基に今後、投資計画が示される。水源については早期にマイナスをゼロにし、節水型経営から脱却を図るが、何トン必要であるかという目標等については今後の再評価で審議すると理解した。

・老朽化ダムの対応を含めて、水源確保は重要な部分である。色んな課題がそこに迫り着いている。このことは以前から変わっていないようにも思う。今後、答申をまとめるにあたって、このことは明確に示していくべきと思う。

・最後に、今回提案された経営の目標に沿って、今後、投資を策定していくということについて委員各位に諮られ、全会一致で承認されました。